

SHOWA DENKO

Corporate Profile

昭和電工株式会社 会社案内



Purpose / 存在意義

化学の力で社会を変える

先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、グローバル社会の持続可能な発展に貢献する

Values / 私たちが大切にしている価値観

プロフェッショナルとしての成果へのこだわり

仕事に情熱と誇りを持つ
実力主義、成果にこだわる
結果、グローバルで認められる一流としての実力を持つ

機敏さと柔軟性

挑戦を称賛し失敗に寛容になる
思考と行動に柔軟性とスピードを持つ
結果、組織としての基本速度をあげる

枠を超えるオープンマインド

互いへの信頼と尊重を示す
オープンに、領域を定めず関わりあう
結果、内外のステークホルダーとの共創を実現する

未来への先見性と高い倫理観

化学と真摯に向き合う
数世代先の未来を見通す先見性を持つ
化学技術への自律した倫理観と
全てのステークホルダーに対する誠実さを持つ

会社概要

社名	昭和電工株式会社	本社	〒105-8518
設立	1939年6月		東京都港区芝大門1丁目13番9号
資本金	179,163百万円 (2021年9月30日現在)		TEL : 03-5470-3235 (ブランド・コミュニケーション部)
従業員	連結:32,373名 単独:3,561名 (出向者除く) (2021年6月30日現在)		URL : https://www.sdk.co.jp/
連結子会社	国内:31社 海外:112社 (2021年9月30日現在)		E-mail : sdk_prir@showadenko.com



化学の力で社会を変える

2022年1月、昭和電工株式会社と昭和電工マテリアルズ株式会社は、両社の経営体制を一本化し、両社共通の執行役員が両社のマネジメントを遂行する体制により実質的統合を実現しました。両社統合のプロセスは、2023年1月の完全統合に向けて順調に進んでおり、長期ビジョンで示した統合新会社の存在意義（パーパス）「化学の力で社会を変える」に加え、社員が大切にすべき4つのバリュー（価値観）として、「プロフェッショナルとしての成果へのこだわり」「機敏さと柔軟性」「枠を超える、オープンマインド」「未来への先見性と高い倫理観」を定め、これらをパーパスと合わせて経営理念としました。今後この経営理念のグループ、グローバルでの浸透を図り、新生昭和電工グループが一丸となって事業に取り組むとともに、人材育成の強化、人事評価の透明性や実力主義の徹底等を進めて参ります。

また、お客さまにご提供するソリューションについても、昭和電工の川中の素材技術と昭和電工マテリアルズの川下のアプリケーション技術、そして両社の評価・解析技術の融合によって、技術的なブレークスルーを実現し、幅広い機能の提供が可能になると考えています。

さらに両社の多岐にわたる技術を融合し、2050年のカーボンニュートラル実現等の環境問題をはじめとする様々な社会課題の解決を通じてサステナビリティを実現するための研究開発テーマを設定・推進していく「融合の舞台」や、最先端半導体パッケージを生み出すための協創型開発施設「パッケージングソリューションセンタ」等を活用しながら、お客さまやパートナー企業等との協働・協創の下イノベーションを推進していくことで、「化学の力で社会を変える」という統合新会社の存在意義発揮に取り組んで参ります。

こうした統合の着実な進展により、当社グループは、めざす姿「世界で戦える会社」「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」を実現して参ります。

新しい昭和電工グループに、そして統合新会社に、ぜひご期待ください。

2022年1月
昭和電工株式会社 代表取締役社長

高橋 秀仁

社会とつながる SHOWA DENKO

昭和電工(株)は、1939年に昭和肥料(株)と日本電気工業(株)が合併し誕生、2019年に80周年を迎えました。昭和電工グループの製品は長い間、さまざまな製品の素材や部材として、皆さまの暮らしを支え、生活を便利に豊かにするために貢献してきました。見えるところでも、見えないところでも、昭和電工グループは社会とのつながりを意識しながら事業を進めていきます。

History

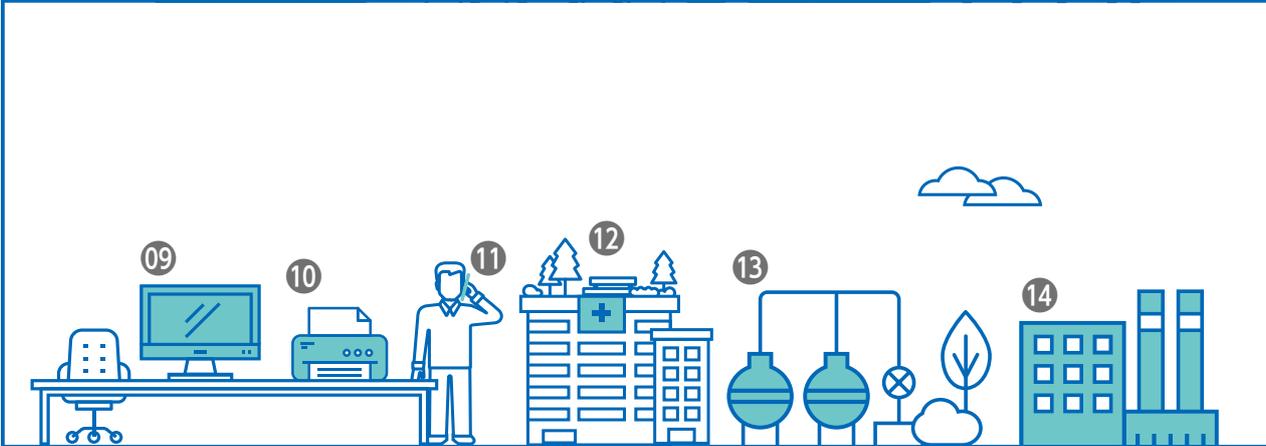
昭和電工のあゆみ

- 1908年 沃度の製造販売の総房水産(株)(日本沃度(株)の母体)を設立
- 1921年 高田アルミニウム器具製作所設立(のちの昭和アルミニウム(株))
- 1926年 日本沃度(株)(のちの日本電気工業(株))を設立(昭和電工の創業)
- 1928年 昭和肥料(株)を設立
- 1931年 昭和肥料(株)川崎工場、国産法による硫酸の製造に成功
- 1934年 日本沃度(株)大町工場、国産アルミニウムの工業化に成功
- 1937年 理研琥珀工業(株)設立(のちの昭和高分子(株))
- 1939年 日本電気工業(株)、昭和肥料(株)が合併、昭和電工(株)を設立
- 1951年 合成樹脂エマルジョンの国産化に成功(昭和高分子(株))
- 1953年 不飽和ポリエステル樹脂の国産化に成功(昭和高分子(株))
- 1965年 ビニルエステル樹脂を国産化に成功(昭和高分子(株))
- 1969年 大分石油化学コンビナート営業運転を開始
- 1988年 米国の黒鉛電極事業買収、昭和電工カーボン社を設立
- 2001年 昭和アルミニウム(株)を合併
- 2005年 世界初の垂直磁気記録方式ハードディスクの量産開始
- 2008年 昭和炭酸(株)(現:昭和電工ガスプロダクツ(株))を連結子会社化
- 2009年 富士通(株)のハードディスク事業を統合、昭和電工HD山形(株)発足
- 2010年 昭和高分子(株)を合併
- 2016年 サンアロマー(株)を連結子会社化
- 2017年 黒鉛電極事業を営むSGL GEを買収(現 昭和電工カーボン・ホールディング GmbH)
- 2020年 日立化成(株)を買収(現 昭和電工マテリアルズ(株))

こんなところに昭和電工

当社グループの素材・部材が使用されている一例をご紹介します。

- 01 水道水
 - ・次亜塩素酸ソーダ(殺菌剤)
- 02 ヨーグルト・ゼリー容器
 - ・アルミキャップシール
 - ・ポリプロピレン容器
- 03 炭酸飲料
 - ・炭酸ガス
- 04 菓子袋
 - ・酢酸ノルマルプロピル(グラビア印刷インキ)
- 05 デジタルカメラ
 - ・半導体用研磨材
 - ・酸化チタン(コンデンサー用材料)
- 06 薄型テレビ
 - ・ディスプレイバックライト用LEDチップ
 - ・液晶ガラス用研磨材
 - ・アルミ製放熱板
 - ・酸化チタン(コンデンサー用材料)
 - ・アクリルモノマー/ポリマー(カラーフィルター用樹脂)
- 07 接着剤
 - ・エマルジョン
 - ・酢酸エチル
- 08 化粧品
 - ・ビタミンC誘導體
 - ・ビタミンE誘導體
- 09 パソコン
 - ・ディスプレイバックライト用LEDチップ
 - ・半導体製造用高純度ガス
 - ・半導体製造用溶剤
 - ・半導体製造用研磨材
 - ・レジスト(保護膜)インク
 - ・アルミナ(放熱材)
 - ・酢酸エチル(接着剤原料)
 - ・ハードディスクメディア
 - ・回路接続用異方導電フィルム
- 10 プリンター(感光ドラム基材)
 - ・レーザービームプリンター用アルミニウムシリンダー
- 11 携帯電話・スマートフォン
 - ・リチウムイオン電池用部材
 - ・アルミラミネートフィルム
 - ・酸化チタン(コンデンサー用材料)
- 12 病院
 - ・LDLコレステロール測定試薬
 - ・クロロプレンゴム(手術用手袋)
- 13 タンク
 - ・防食コーティング
- 14 半導体工場
 - ・半導体製造用高純度ガス
 - ・半導体製造用溶剤
 - ・半導体製造用研磨材
 - ・排ガス処理装置
 - ・ダイボンディングフィルム
- 15 電気製鋼炉
 - ・黒鉛電極
- 16 植物工場
 - ・LED(植物育成用照明)
 - ・炭酸ガス
 - ・アルミ押出栽培棚
- 17 火力発電所
 - ・アンモニア(窒素酸化物還元剤)
- 18 水素ステーション
 - ・水素(燃料電池車用燃料)
- 19 風力発電所
 - ・リチウムイオン蓄電池用部材
 - ・ビニルエステル樹脂(羽根)
- 20 自動車
 - ・パワー半導体用SiC
 - ・アルミニウム鍛造品
 - ・パワー半導体冷却器
 - ・リチウムイオン電池用部材
 - ・超高輝度LED(各種ランプ)
 - ・モレキュラーシーブ(カーエアコン冷媒乾燥剤)
 - ・不飽和ポリエステル樹脂(ランプリフレクター、モーター封止材)
 - ・合成樹脂エマルジョン(接着剤原料)
 - ・ポリプロピレン(バンパーなど)
 - ・樹脂製バックドアモジュール
- 21 バイク
 - ・アルミ鍛造品
- 22 ヘルメット
 - ・ビニルエステル樹脂
- 23 信号機(信号ランプ)
 - ・高輝度LED
- 24 住宅(防犯カメラ)
 - ・赤外LED
 - ・ハードディスク
- 25 鉄道
 - ・パワー半導体用SiC
 - ・アルミ押出材



統合新会社の長期ビジョン

昭和電工は2020年12月に、2030年までの長期ビジョンを発表しました。統合予定の昭和電工マテリアルズとともに、世界トップクラスの機能性化学メーカーを目指してまいります。

パーパスと目指す姿

統合新会社の存在意義（パーパス）には、先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、グローバル社会の持続可能な発展に貢献するという意味が込められています。そして、この存在意義（パーパス）の充足に向けて、2つの目指す姿を掲げました。

統合新会社の存在意義（パーパス）

化学の力で
社会を変える

統合新会社の目指す姿

世界で
戦える会社

持続可能な
グローバルな社会に
貢献する会社

2025年までの長期数値目標

企業価値向上に向けた統合新会社の長期数値目標をご紹介します。



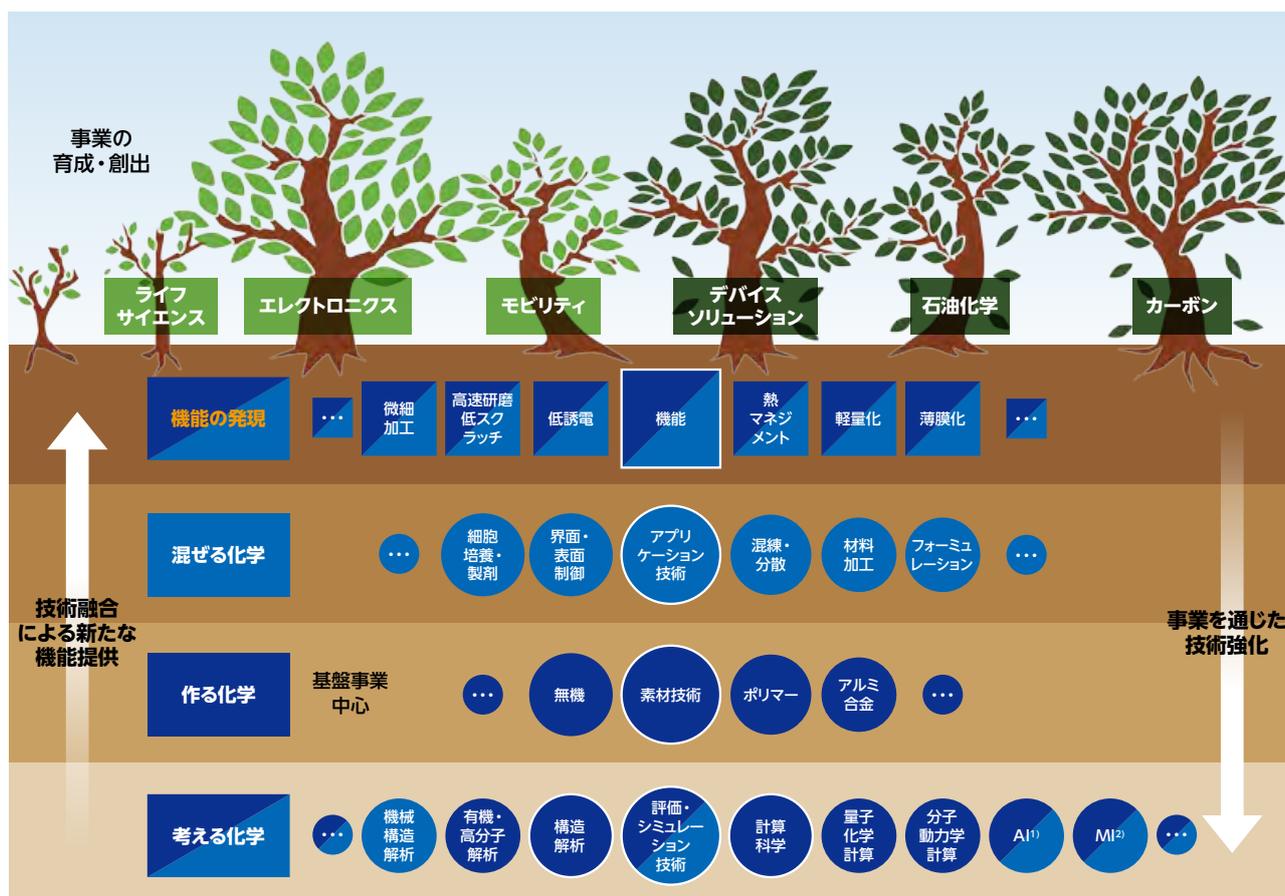
※ 制度会計ベースは、2020年8月12日2Q決算発表時の昭和電工マテリアルズの下期(7~12月)を織り込んだ通期業績予想。年間換算ベースは、昭和電工マテリアルズの2020年1月期首から6月までの業績に制度会計ベースの数値を合算した値。(ただし、棚卸資産のステップアップ分を含まず)

統合へのステップ



統合による技術の融合

当社は、昭和電工マテリアルズとの統合による技術融合によって、成長事業を中心とするイノベーションを実現していきます。昭和電工の川中素材の「作る化学」と、昭和電工マテリアルズの川下アプリケーションの「混ぜる化学」、そして、両社の評価・シミュレーション、構造解析、計算科学の「考える化学」、これらの「3つの化学」の融合によって市場に幅広い機能を提供し続けて事業を強化・創出していきます。



■ : 昭和電工主体 ■ : 昭和電工マテリアルズ主体
 1. AI = Artificial Intelligence (人工知能) 2. MI = Materials Informatics (マテリアルズ・インフォマティクス)

TOPIC 「融合の舞台」建設中

昭和電工は2022年末の竣工を目指して神奈川県横浜市にグローバル研究拠点「融合の舞台」を建設中です。

ここでは多様な技術領域を融合し、ESGやSDGsの観点から新たな研究開発テーマの創出・推進し、「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」となるべく、幅広い機能を市場に提供し続けていけるよう取り組みを進めていきます。



SDGsへの取り組み

近年世界全体で、社会環境の解決に向けたSDGs推進の必要性が高まっています。統合新会社においても、両社の持つ多様な技術や事業により、継続的にSDGsに貢献し、ESGへの取り組みをより一層強化してまいります。



TOPIC プラスチックのケミカルリサイクル

昭和電工では、使用済みプラスチックから水素を取り出すプラスチックケミカルリサイクル事業を2003年から行っています。

使用済みプラスチックより得られた水素を原料の一部として用いる当社のアンモニア製造プロセスは、製造プロセスで初のエコマーク認証を取得しており、このアンモニアを「ECOANN®」として販売しています。

また、この使用済みプラスチック由来の低炭素水素は、燃料電池車向けに水素ステーションへ供給されるほか、純水素型燃料電池システムでの発電用に「川崎キングスカイフロント東急REIホテル」にも供給され、低炭素社会の実現に向けて貢献しています。

処理過程で発生するCO₂をドライアイスにリサイクルするなど、資源を有効に活用しています。

当事業は2020年11月、「第21回 グリーン購入大賞」にて「大賞・経済産業大臣賞」を受賞しました。



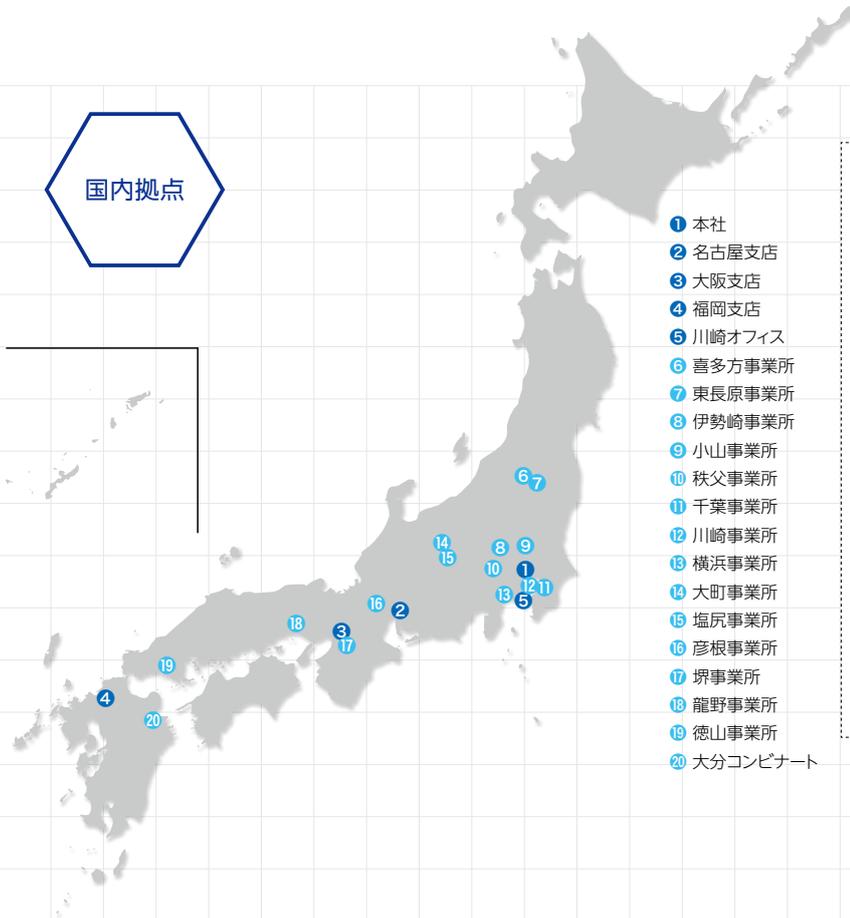
川崎プラスチックケミカルリサイクルプラント



水素を利用している、川崎キングスカイフロント東急REIホテル。右は燃料電池システム

拠点・グループ会社 (2021年9月30日現在)

国内拠点



- ① 本社
- ② 名古屋支店
- ③ 大阪支店
- ④ 福岡支店
- ⑤ 川崎オフィス
- ⑥ 喜多方事業所
- ⑦ 東長原事業所
- ⑧ 伊勢崎事業所
- ⑨ 小山事業所
- ⑩ 秩父事業所
- ⑪ 千葉事業所
- ⑫ 川崎事業所
- ⑬ 横浜事業所
- ⑭ 大町事業所
- ⑮ 塩尻事業所
- ⑯ 彦根事業所
- ⑰ 堺事業所
- ⑱ 龍野事業所
- ⑳ 徳山事業所
- ㉑ 大分コンビナート

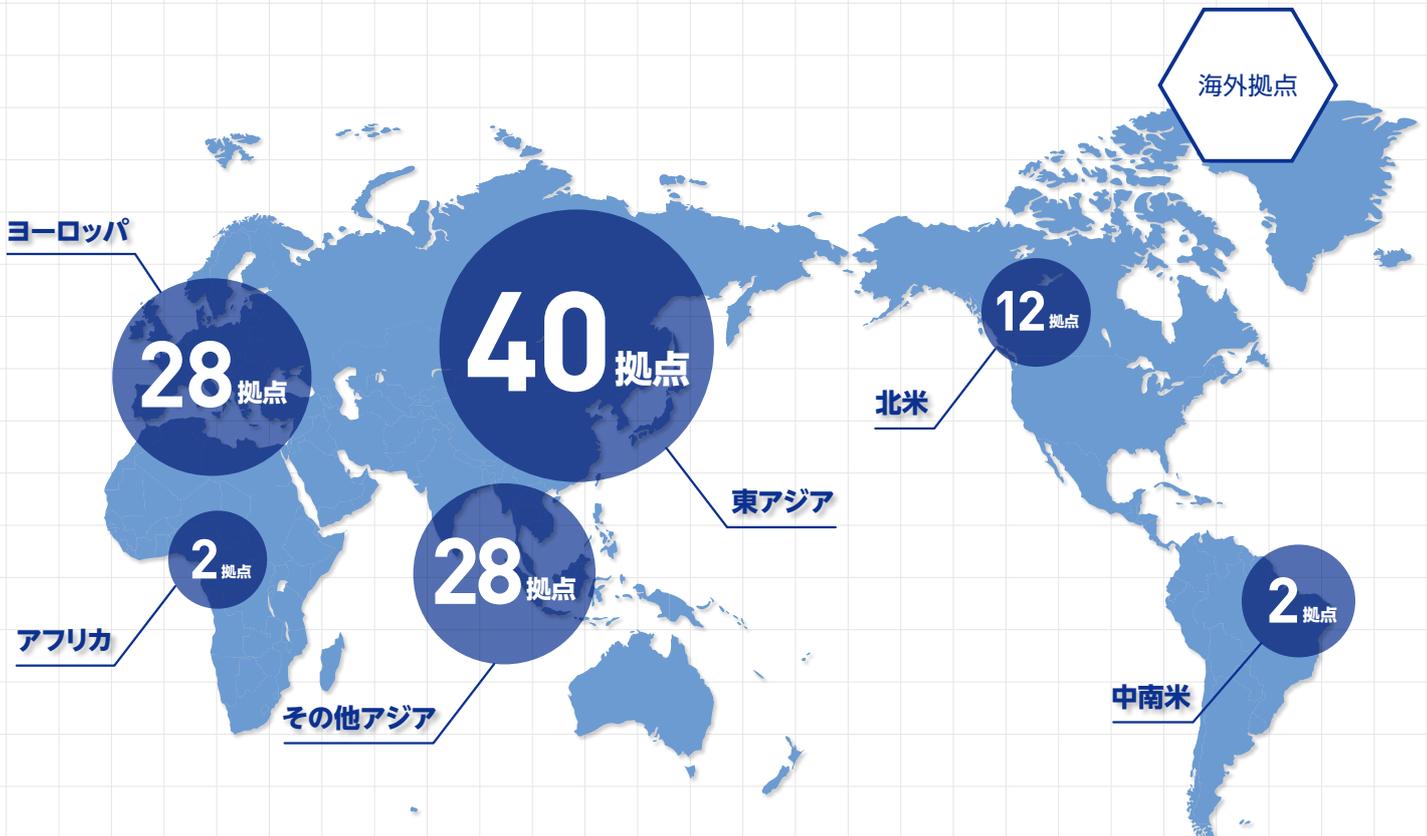
研究拠点

- 融合製品開発研究所
 - 大分
 - 川崎
 - 伊勢崎
 - 龍野
 - 横浜
 - 塩尻
 - 秩父
 - 小山
 - 喜多方
 - 堺
 - 千葉
 - 土気
 - 富山
- 化学品管理・評価センター
- プロセス・ソリューションセンター

主な国内グループ会社

- 昭和電工マテリアルズ(株)
- サンアロマー(株)
- 鶴崎共同動力(株)
- 昭和電工ガスプロダクツ(株)
- 昭和電工HD山形(株)
- 昭和電工パッケージング(株)
- 昭和電工セラミックス(株)
- 昭和電工研装(株)
- 昭和電工光半導体(株)
- 昭和電工建材(株)

海外拠点



*2020年12月31日現在(連結子会社)

石油化学セグメント

石油化学事業部



エチレン分解炉



酢酸ノルマルプロピル (NPAC)



アリルアルコールプラント



ポリプロピレン「クオリア®」

石 油化学事業部はオレフィン部と有機化学品部から構成されています。

主要製造拠点である大分コンビナートはナフサクラッカーを有し、自社で営むアセチル系誘導品や、コンビナート構成各社で営む合成樹脂・合成ゴム・スチレンモノマーを製造するプラントへ基礎原料を供給するバランスの取れた需要構造を特長としています。また、ナフサクラッカーの新旧設備の効率的統合や他社に先駆けた原料多様化など競争力の強化を推進しています。

オレフィン部では石油化学基礎製品を提供し、有機化学品部では、アセチル系・アリルアルコール系の誘導品において当社の誇る高い触媒技術を武器に事業拡大を図っています。

エチレン分解炉(ナフサクラッカー)

さまざまな石油化学製品の原料となるエチレンを、ナフサ以外の原料も使用(原料多様化)して製造し、資源の有効活用や高いコスト競争力に貢献しています。

酢酸ノルマルプロピル (NPAC)

特殊グラビア印刷用インキの溶剤として使われるNPACは、環境にやさしい特長から、食品包装の分野で多く利用されるようになっています。

アリルアルコール

アリルアルコールは、広範囲な用途に使われる界面活性剤、メガネレンズ、香料などの原料として使用されます。

ポリプロピレン「クオリア®」

サンアロマー(株)で製造・販売しているクオリア®は、透明性・耐衝撃性・剛性のバランスの良い新しいポリプロピレンです。特に食品包装分野・自動車分野向けで、お客様のニーズに応じています。

化学品セグメント

産業ガス事業部・基礎化学品事業部・情報電子化学品事業部・
機能性化学品事業部・コーティング材料部

産 業ガス事業部は、酸素・窒素・アルゴンなどのセパレートガス・圧縮水素・炭酸・ドライアイスなどの産業用ガスを提供しています。

基礎化学品事業部は、化成品部と有機製品部から構成されています。化成品部ではアンモニア・苛性ソーダ・塩酸などの工業薬品を、また、有機製品部ではアクリロニトリル・アミノ酸・クロロプレンゴムなどを提供しています。

情報電子化学品事業部は、半導体や液晶パネルなどの製造工程で使用される高純度ガス・溶剤および除害装置を内外の半導体メーカーに供給しています。

機能性化学品事業部は、機能性高分子部と特殊化学品部から構成されています。機能性高分子部では各種合成樹脂およびこれらを使用した成形材料を、特殊化学品部では化粧品原料・電子材料用樹脂・高速液体クロマトグラフィー (HPLC) 用カラムなど、最先端かつ個性的な製品をラインアップしています。

コーティング材料部は、調理器具や家電製品、自動車・産業機器などに塗布される、焦げ付き、汚れ防止を目的とした材料であるノンスティック・コーティング剤を提供します。

電子材料用高純度ガス

半導体や液晶パネル、LED、太陽電池などをつくる過程で使用される、臭化水素、塩素、フッ素系など、20種類の高純度ガスを生産しています。

不飽和ポリエステル樹脂「リゴラック®」

軽く、強く、腐食しない特性を持つ不飽和ポリエステル樹脂「リゴラック®」は、自動車部品・家電製品・海洋開発まで多彩な分野に使用されています。

ノンスティック・コーティング剤

調理器具や家電製品などの消費者向け製品や、自動車・産業機器などの工業製品に塗布される、焦げ付き、汚れ防止を目的とした材料です。

炭酸ガス・ドライアイス

昭和電工ガスプロダクツ(株)では、炭酸飲料向けを中心とした炭酸ガス、保冷用ドライアイスを提供し、食料資源の安定供給と安全性の確保に貢献しています。



電子材料用高純度ガス



不飽和ポリエステル樹脂「リゴラック®」



ノンスティック・コーティング剤塗布製品



ドライアイス

エレクトロニクスセグメント

デバイスソリューション事業部・

先端電池材料事業部・電子機能材プロジェクト



HD



LED



SiCエピタキシャルウェハー



リチウムイオン電池材料

デ バイスソリューション事業部では、高機能記録メディアであるハードディスク (HD)、パワー半導体用SiCエピウェハーを提供しています。

中でもHD事業は、現在、日本3拠点を含めた世界7拠点で事業を展開しており、クラウド化やAIによるビッグデータ解析の進展により拡大が期待されるデータセンターやエンタープライズ分野などへ当社技術による世界最高品質の製品を提供しています。

先端電池材料事業部では、「VGCF[®]」をはじめとするリチウムイオン電池材料および燃料電池部材を提供しています。

電子機能材プロジェクトでは、超高輝度・高出力LEDなどの化合物半導体および、高性能モーター用のレアアース磁石合金を提供しています。

HD

世界最大のハードディスク外販メーカーとして、最先端技術を駆使し、次々と大容量化を実現するとともに、お客さまからのご要望にスムーズに対応できるよう、最適な生産・供給体制を構築しています。

LED

植物工場向けやディスプレイ表示向け、センサーなどの工業用途として、紫外から赤外までの高出力LEDのラインアップを実現しています。

SiCエピタキシャルウェハー

省エネルギー化が期待される次世代のパワー半導体に使用される材料です。すでにデータセンターのサーバー電源や鉄道車両向けデバイス、EVオンボードチャージャーへの採用が進んでいます。

リチウムイオン電池材料

リチウムイオン電池市場において、安定高品質の正負極用導電助剤「VGCF[®]」、アルミラミネートフィルム「SPALF[®]」などを展開しています。

無機セグメント

セラミックス事業部・カーボン事業部

セラミックス事業部では、長年培われてきた高温溶融技術、高温焼成技術、粉碎分級技術を活かし、溶融アルミナ・炭化ケイ素・窒化ホウ素を使った研磨材・研削材・耐火材を製造・販売しています。また、多くの電子機器に搭載されている積層セラミックコンデンサー (MLCC) の原料である超微粒子酸化チタンは、ハイエンド品向けに高いシェアを有します。

カーボン事業部で扱う電気製鋼炉用黒鉛電極は鉄のリサイクルに欠かせない製品です。当社の黒鉛電極は、世界各国のお客さまから高い評価をいただいています。2017年には、ドイツ・SGL GE社の黒鉛電極事業を統合し、世界シェアナンバーワンとなりました。今後は、高品位製品を先進国市場に供給する一方で、成長著しい新興国市場へのボリュームゾーン製品の開発・販売の強化を図っています。

黒鉛電極

電気製鋼炉で鉄のスクラップを溶解するための部材で、鉄のリサイクルに役立っています。当社の黒鉛電極は優れた品質で、世界各国のお客さまから高い評価をいただいています。

研削材・耐火材

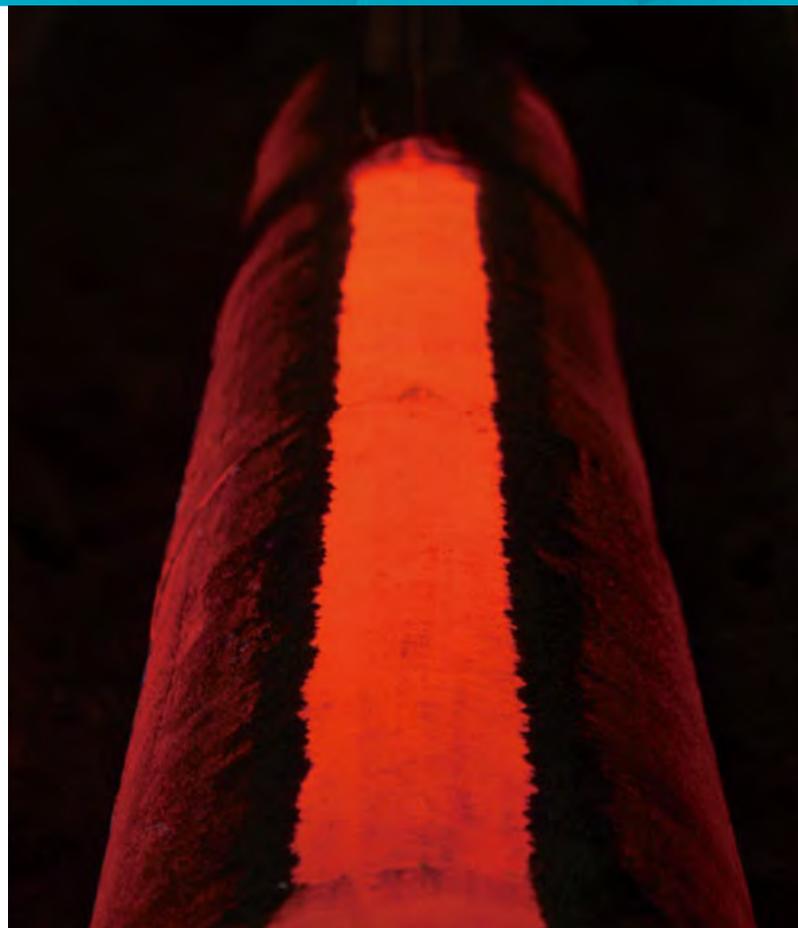
創業以来培ってきた経験と実績と得意分野である高温溶融技術、高温焼成技術、高温焼結技術、粉碎分級技術を活かして、お客さまのご要望に応じた品質の研削材・耐火材を生産しています。

cBN

cBNはダイヤモンドに次ぐ硬度を持っていることから、自動車などの部品を切削するための工具に使用されています。

コンデンサー用セラミックス

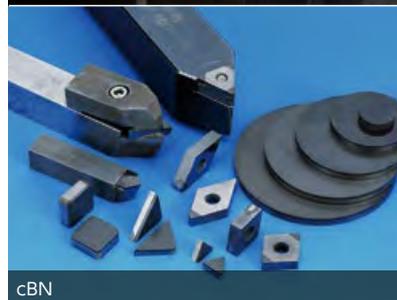
高純度酸化チタン「スーパータイタニア®」は、身近な電子・電気機器に使用されるセラミックコンデンサーの主要原料です。



黒鉛電極



研削材・耐火材



cBN



コンデンサー用セラミックス

アルミニウムセグメント

アルミ機能部材事業部



離床センサー「SHOCARES™」



アルミ鑄造棒・鍛造品

ア ルミニウムセグメントでは、アルミニウム材料や加工品を提供しています。レーザービームプリンターの基幹部品であるアルミニウムシリンダーや大型・複雑形状の押出品、当社の独自技術によるアルミニウム合金連続鑄造棒「SHOTIC®」およびカーエアコン用コンプレッサーをはじめとする自動車部品用の鍛造品を、国内のみならず欧米・東南アジア地域で事業展開しています。

また、家電および産業用機器の各種熱交換器を世界中に提供しているほか、ハイブリッドカーや電気自動車、太陽光発電などに使用されるパワー半導体用冷却器の開発・製造に取り組んでいます。

離床センサー「SHOCARES™」

ベット上の利用者の動きや姿勢の変化を検知する介護・見守り用離床センサーです。

アルミニウム鑄造棒・鍛造品

カーエアコンのコンプレッサー部材や、自動車の軽量化に貢献する微細な合金組織を持つアルミニウム連続鑄造棒「SHOTIC®」と、それをを用いた鍛造品を生産しています。

関連事業 (建材など)



防音型耐火二層管

建 築・土木資材の製造販売を行っています。

防音型耐火二層管

昭和電工建材(株)が製造・販売する「ショウワ遮音FDP」は、高度な遮音性と省スペース性・耐火性・省施工性を兼ね備えた高付加価値型の排水立管で、多くのマンションやホテル、病院などで採用されています。

昭和電工マテリアルズセグメント

昭和電工マテリアルズ(株) 情報通信事業本部・モビリティ事業本部・
機能材料事業本部・ライフサイエンス事業本部

昭 和電工マテリアルズ(株)は、4つの事業本部から構成されています。

情報通信事業本部では、半導体用材料、ディスプレイ関連材料、配線板材料等における最先端の技術開発を通して、情報通信機器の進化に寄与しています。

モビリティ事業本部では、樹脂成形品、ブレーキ部品、粉末冶金部品、負極材、高耐熱コーティング材等、幅広いラインアップで、次世代の自動車づくりに貢献しています。

機能材料事業本部では、樹脂材料、電気絶縁材料、接着剤等を提供しています。

ライフサイエンス事業本部では、人々のクオリティ・オブ・ライフ向上を目指し、診断薬の製造・販売や、再生医療等製品^{*}の製法開発・受託製造を行っています。

* 人または動物の細胞に培養等の加工を施したもので、疾病の治療・予防を目的として使用するもの。

ダイボンディングフィルム

ICチップをパッケージ基板などに接着するための材料です。高い接着強度に加え、熱膨張率の差により発生する基板の歪みを緩和する役割も果たし、半導体パッケージの信頼性確保に貢献しています。

樹脂製バックドアモジュール

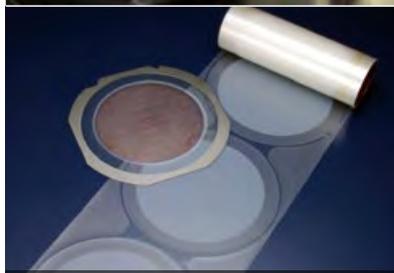
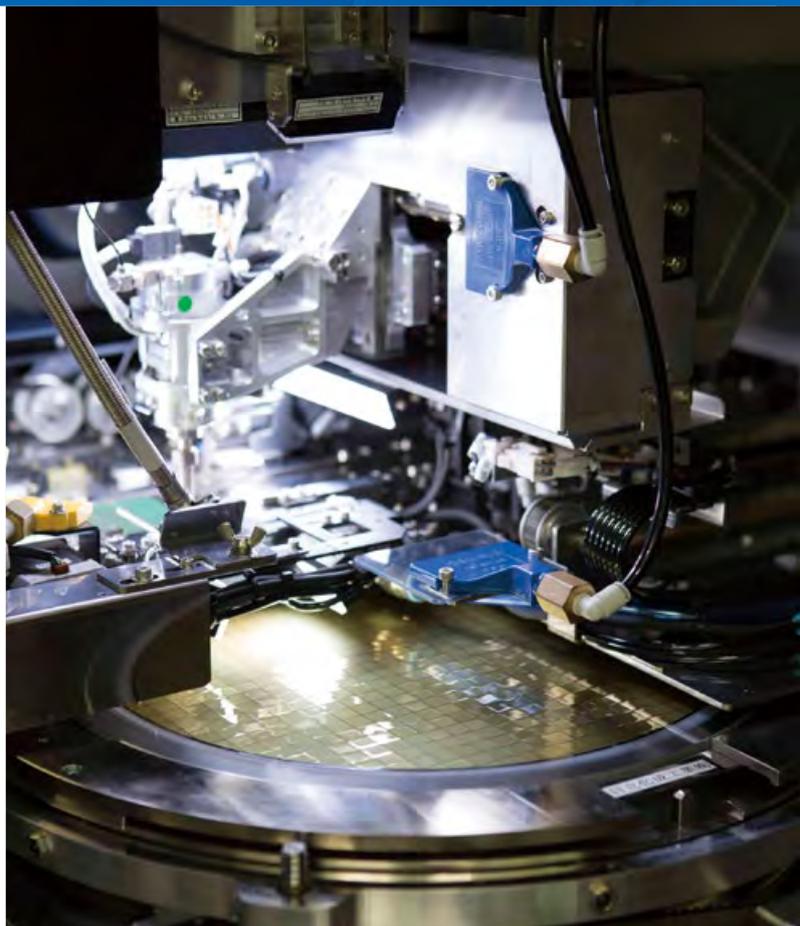
従来金属製であった自動車用バックドアを樹脂化し、バックドアの各種部品と合わせて組み上げた製品です。強度、剛性、耐衝撃性に優れた複合材料を使用し、車のデザイン自由度の向上や軽量化を実現しています。

電気絶縁ワニス

長年にわたり蓄積された豊富な技術で、エナメル銅線の幅広いニーズにグローバルにお応えしています。また耐熱性や機械特性に優れたポリイミド、ポリアミドイミドワニスといったラインナップで自動車の電動化にも貢献しています。

再生医療等製品の製法開発・受託製造サービス

製薬会社などからの委託を受け、品質管理システムを導入した無菌製造施設で、再生医療等製品の製法開発・受託製造を行っています。日欧米に拠点をもち、グローバルな供給体制の下、再生医療の普及に貢献しています。



ダイボンディングフィルム



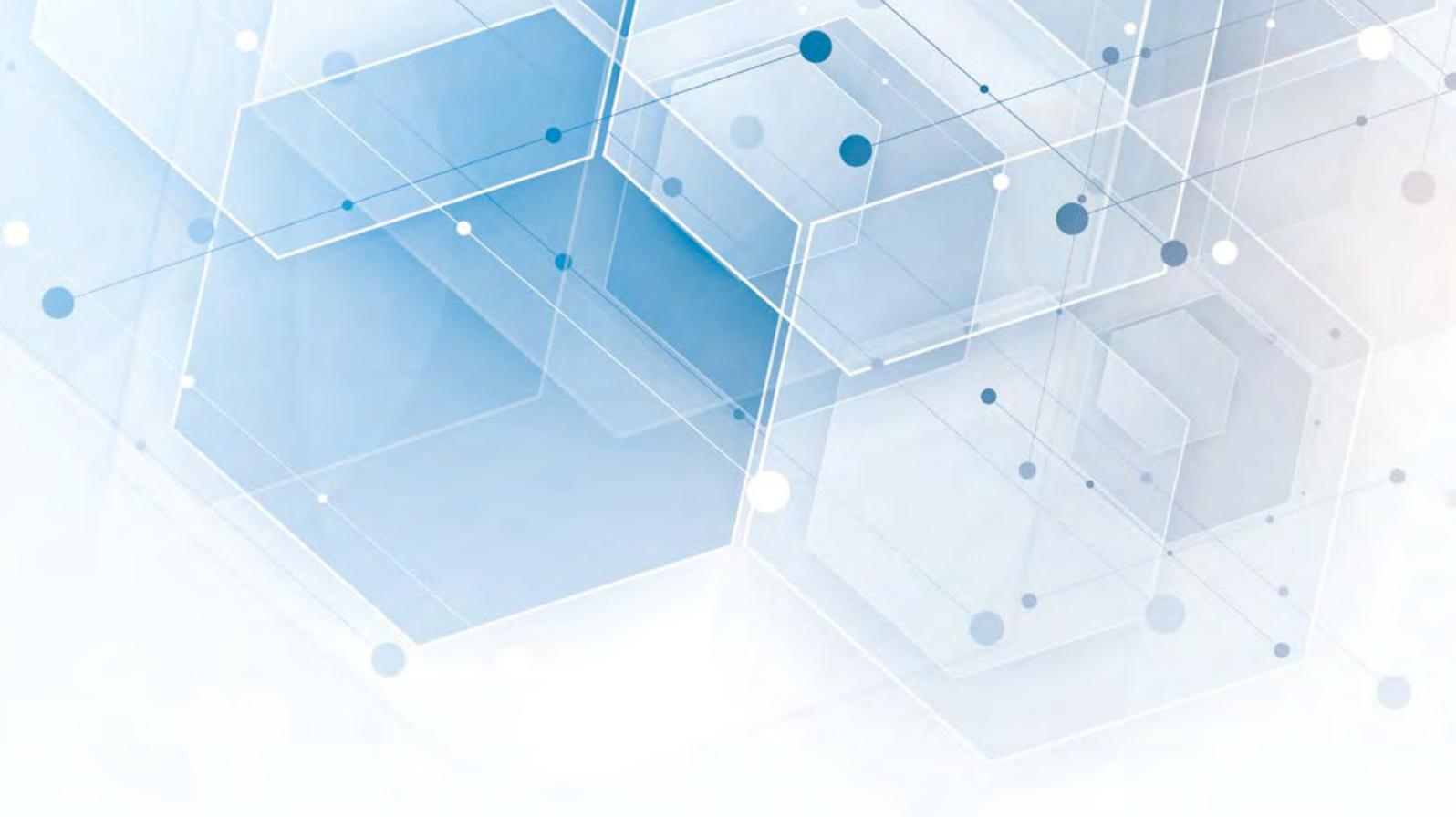
樹脂製バックドアモジュール



電気絶縁ワニス



再生医療等製品の製法開発・受託製造サービス



昭和電工株式会社

お問い合わせ先

昭和電工株式会社 ブランド・コミュニケーション部 TEL: 03-5470-3235 URL: <https://www.sdk.co.jp/> E-mail: [sdk_prir@showadenko.com](mailto: sdk_prir@showadenko.com)